

8.6 自然との触れ合い活動の場

8.6.1 調査事項

調査事項は、表 8.6-1 に示すとおりである。

表 8.6-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 ・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置計画 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保する計画としている。 ・計画地南側に2階南側デッキを配置し、都民の憩いの場と辰巳の森海浜公園、曙運河沿いの親水空間へのアクセスを確保する計画としている。

8.6.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.6.3 調査手法

調査手法は、表 8.6-2 に示すとおりである。

表 8.6-2 調査手法

	調査事項	自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度
	調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年11月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年11月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年11月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化図の整理による方法とした。

8.6.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地周辺の自然との触れ合い活動の場等の名称及び位置は、表 8.6-3、図 8.6-1 に、状況は、写真 8.6-1(1)～(2)に示すとおりである。なお、②武蔵野の路（夢の島・お台場）コース、⑧辰巳の森緑道公園については公園の整備により事業の実施前と状況が変わっていた。

計画地は辰巳の森海浜公園の未開園地であったため、事業の実施前は柵に囲まれて立入りが制限されていたことから、計画地内には自然との触れ合い活動の場は存在しなかった。また、事業の実施により、周辺の自然との触れ合い活動の場の直接改変は生じなかった。

事業の実施により、図 4.2-6 (p.14 参照) に示すとおり、計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保する計画であり、新たに利用可能な緑地が形成され、自然との触れ合い活動の場として活用されるものとする。

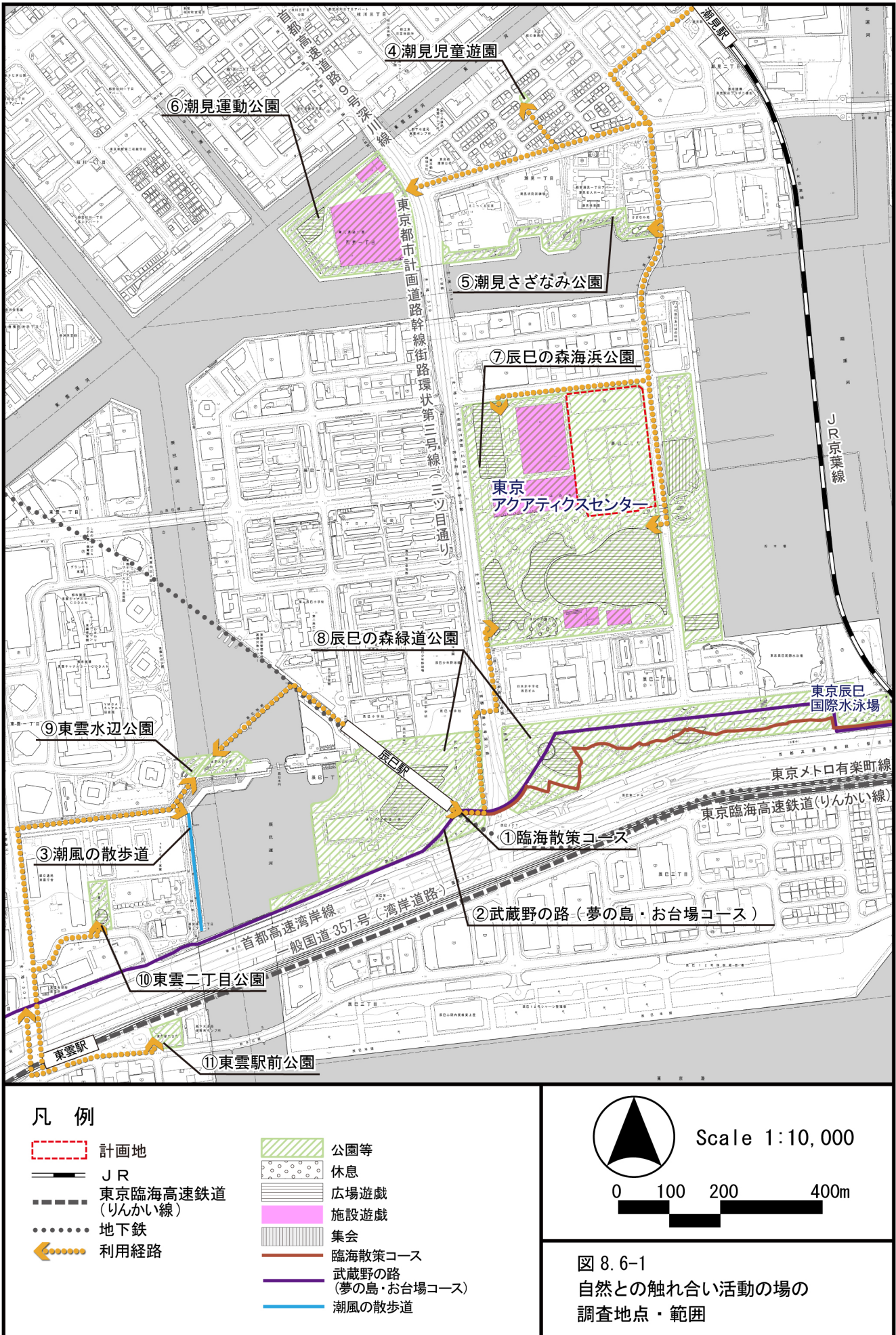


表 8.6-3 自然との触れ合い活動の場の名称及び位置

区分	番号	名称	位置	目的等
遊歩道、 道路	①	臨海散策コース	辰巳駅－辰巳の森緑道公園－ かもめ橋－第五福竜丸展示館 －夢の島熱帯植物館－夢の島 公園－木材・合板博物館－貯木場－ 新木場駅（約5.1km）	明るく開放感のあるベイエリアの風景を 眺めながら、公園や植物園等のヒーリン グスポットや、第五福竜丸展示館や木材・ 合板博物館等、知的な思索に耽りながら 見どころを廻る散策コース。
	②	武蔵野の路（夢 の島・お台場） コース	葛西臨海公園－若洲海浜公園－ 夢の島公園－辰巳の森海浜公園 －東京テレポートタウン－お台 場－船の科学館－城南島（約 16.7km）	武蔵野の路は、自然・歴史・文化にふれ ながら東京を周回する全長270kmの散策 路であり、夢の島・お台場コースは東京 湾の眺望と共に海浜公園、スポーツ公 園、史跡公園が連続する散策コースであ る。
	③	潮風の散歩道	江東区東雲 2-7（約250m）	辰巳運河沿いの散歩道で、木製のベンチ が設置されている。
公園、 児童遊園	④	潮見児童遊園	江東区潮見1-18-1（約220m ² ）	潮見一丁目の住宅地内の街区公園。カラ フルな遊具と砂場、ベンチが設置されて いる。
	⑤	潮見さざなみ公 園	江東区潮見1-29-24（約7,600m ² ）	東雲運河に隣接し、水辺デッキに開放的 な遊歩道がある。多様な植栽があり、園内 にはビオトープや遊具、ベンチ等が設置 されている。
	⑥	潮見運動公園	江東区潮見1-1-1（約40,100m ² ）	野球場4試合分と庭球場1面のある運動 場。園内には遊具施設のある広場があり、運 河沿いでは釣りが楽しめる。
	⑦	辰巳の森海浜公 園	江東区辰巳2-1-35 （約164,800m ² ）	パターゴルフ、フリーテニス等安全でレ クリエーション性に富む8種目のニュース スポーツが楽しめる。遊具施設（すべり台や ブランコ他）やドッグラン施設もある。
	⑧	辰巳の森緑道公 園	辰巳の森緑道公園 （約145,500m ² ）	辰巳の森海浜公園に隣接した公園で長い 園路、広場がある。園内には、花木も多 く四季折々に楽しめる。芝生の広場には、 遊具、小山もある。園内はサイクリング、ジ ョギングやウォーキングコースが整備され ている。
	⑨	東雲水辺公園	江東区東雲 1-9先、辰巳1-1先 （約6,900m ² ）	辰巳運河沿いに位置する街区公園。広場 にベンチや遊具が設置されている。
	⑩	東雲二丁目公園	江東区東雲2-7-6（約3,600m ² ）	東雲二丁目に位置する街区公園。遊具や ベンチが設置されている。
	⑪	東雲駅前公園	江東区東雲2-8-4（約2,300m ² ）	東雲駅前に位置する街区公園。舗装され た広場にベンチが設置されている。



① 臨海散策コース



② 武蔵野の路（夢の島・お台場）コース



③ 潮風の散歩道



④ 潮見児童遊園



⑤ 潮見さざなみ公園



⑥ 潮見運動公園



⑦ 辰巳の森海浜公園



⑧ 辰巳の森緑道公園

写真 8.6-1 (1) 施設の状況 (2021 年 11 月時点)



⑨東雲水辺公園



⑩東雲二丁目公園



⑪東雲駅前公園

写真 8.6-1(2) 施設の状況(2021年11月時点)

イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地に隣接する辰巳の森海浜公園では、散策や自然観察、休息、スポーツ利用等の自然との触れ合い活動が日常的に行われている。事業の実施により、計画地周辺の自然との触れ合い活動の場の直接改変は生じなかった。また、計画地南側には都民の憩いの場となる2階南側デッキを配置し、辰巳の森海浜公園の動線との連続性を確保した。2階南側デッキから曙運河沿いの親水空間へのアクセスを確保し、周辺の自然との触れ合い活動も含めた利用者の利便性が向上し、自然との触れ合い活動は促進されているものとする。

2) 予測条件の状況

ア. 計画建築物の状況(配置、形状、高さ等)

計画建築物の状況は、「4. 東京アクアティクスセンターの計画の目的及び内容 4.2 内容
4.2.3 事業の基本計画 (1)配置計画」(p.7 参照)に示したとおりである。

イ. 緑化計画

緑化計画は、「4. 東京アクアティクスセンターの計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3
事業の基本計画 (7)緑化計画」(p.13 参照)に示したとおりである。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.6-4 に示すとおりである。なお、自然との触れ合い活動の場に関する問合せはなかった。

表 8.6-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション 実施状況	・計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保する計画としている。 辰巳の森海浜公園との一体性を確保するよう、計画地の東側、北側及び西側に緑地帯（約 3,600m ² ）を確保する計画である。
ミティゲーション 実施状況	・計画地南側に 2 階南側デッキを配置し、都民の憩いの場と辰巳の森海浜公園、曙運河沿いの親水空間へのアクセスを確保する計画としている。 計画地南側に 2 階南側デッキを配置し、都民の憩いの場と辰巳の森海浜公園、曙運河沿いの親水空間へのアクセスを確保した。
	
2 階南側デッキと親水空間へのアクセス	

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

事業実施前は、計画地内には自然との触れ合い活動の場はなかった。また、事業の実施により、周辺の自然との触れ合い活動の場の改変は生じなかった。

事業の実施により、計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保することにより、新たな自然との触れ合い活動の場として活用されるものとする。

したがって、周辺の自然との触れ合い活動の場の状況は維持され、かつ、新たな自然との触れ合い活動の場が創出されることから、地域の自然との触れ合い活動の場は充実するものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

事業の実施により、計画地南側に2階南側デッキを配置し、都民の憩いの場を創出するとともに、2階南側デッキから辰巳の森海浜公園の動線との連続性や曙運河沿いの親水空間へのアクセスを確保したことにより、自然との触れ合い活動は促進されているものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。